

実務経験証明書

船橋市長 あて

建設業法第7条第2号の(イ・ロ・ハ)のうち該当するものに○を付すか、不要なものを削除すること。

下記の者は、**土木一式** 工事(該工事の施工において必要な業種)に関し、以下のとおり建設業法第7条第2号の(イ・**ロ**・ハ)に該当する **10** 年以上実務の経験を有することに相違ないことを証明します。

令和〇〇年〇〇月〇〇日

証明者 住 所 **船橋市〇〇町〇丁目〇番〇号**

商号又は名称 **株式会社〇〇建設**

代表者職氏名 **代表取締役 〇〇 〇〇**

配置する技術者

氏 名 **〇〇 〇〇**

生 年 月 日 **昭和〇〇年〇〇月〇〇日生**

住 所 **〇〇市〇〇町〇-〇-〇**

学歴(学校・学科) **平成〇〇年〇〇月〇〇〇〇学校 〇〇学部〇〇科 卒**

(注) 学歴は、業種に対応する指定学科及び必要な実務経験の年数を確認し記載すること。

資 格

当該工事の施工において必要な業種に関する資格のみ記入すること。

(例) 当該工事が「電気工事」のとき、技術者として第二種電気工事士の免状の交付を受けた者を配置しようとする場合、この資格欄に「第二種電気工事士」と記載のうえ、下記実務経験の経歴欄に免状交付後電気工事に関し三年以上実務の経験を有することを記載して証明すること。

職歴

(注) 現在勤めている会社だけでなく、以前勤めていた会社における実務経験年数を含めて当該工事の主任技術者として必要な実務経験年数を満たす場合は、以前勤めていた会社の入社、退社、勤務年月数について記入すること。

行については適宜追加、削除すること。

勤務先名称	入社年月	退社年月	勤務年月数
有限会社〇〇工業	平成〇〇年〇〇月から	平成〇〇年〇〇月まで	3年5か月
△△建設株式会社	平成〇〇年〇〇月から	平成〇〇年〇〇月まで	2年3か月
株式会社〇〇建設	平成〇〇年〇〇月から	在籍中	

該工事の施工において必要な業種における実務経験の経歴

実務経験の内容(業種・名称)	実務経験年数		月数	
	年	月	年	月
●●●●●●●●●●工事	平成〇〇年〇〇月から	平成〇〇年〇〇月まで	8	か月
現在の勤務先における実務経験年数だけで当該工事の主任技術者として必要な実務経験年数を満たす場合は、現在の勤務先の内容のみの記載で可。	平成〇〇年〇〇月から	平成〇〇年〇〇月まで	11	か月
●●●●●●●●●●工事	平成〇〇年〇〇月から	平成〇〇年〇〇月まで	10	か月
▲▲▲▲▲▲▲▲▲▲工事	平成〇〇年〇〇月から	平成〇〇年〇〇月まで	8	か月
▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽工事	平成〇〇年〇〇月から	平成〇〇年〇〇月まで	12	か月
▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽工事	平成〇〇年〇〇月から	平成〇〇年〇〇月まで	8	か月
▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽工事	平成〇〇年〇〇月から	平成〇〇年〇〇月まで	7	か月
××××××××××工事他	平成〇〇年〇〇月から	平成〇〇年〇〇月まで	9	か月
●●●●●●●●●●工事他	平成〇〇年〇〇月から	平成〇〇年〇〇月まで	10	か月
▲▲▲▲▲▲▲▲▲▲工事他	平成〇〇年〇〇月から	平成〇〇年〇〇月まで	9	か月
◎◎◎◎◎◎◎◎◎◎工事他	平成〇〇年〇〇月から	平成〇〇年〇〇月まで	11	か月
◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆工事他	平成〇〇年〇〇月から	平成〇〇年〇〇月まで	10	か月
▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽工事	平成〇〇年〇〇月から	令和〇〇年〇〇月まで	9	か月
通算年月	合計 満 10 年 2 月		122	か月

(注) ① 工事1件ごとに記入するのが原則であるが、多数である場合はその年の代表的工事の件名を記入し、●●工事他として1年分を1行にまとめることも可能とする。
② 証明者である会社における実績のみ記入すること。
③ 試掘調査などの業務委託は工事ではないため、工事の実務経験としては認められない。

行については適宜追加、削除すること。